

自己評価および外部評価（運営推進会議）の結果

評価日：2025年3月26日

<事業所概要>

事業所番号	4472800343
法人名	社会福祉法人 玖珠会
事業所名	グループホーム笑みの里
所在地	大分県玖珠郡玖珠町大字大隈322-2

<事業所で特に力を入れている点>

ご利用者様の尊厳を重視し、一人ひとりの生活スタイルに合わせたケアを行っています。定例・季節行事、家事、体操などに積極的に参加していただき、認知機能や身体機能の悪化予防を図っています。食事は毎回手作りで、ご利用者様の状態や嗜好を考慮しながら、健康管理に努めています。

項目番号	評価項目	自己評価	自己評価の記述	運営推進会議で話し合った内容	外部評価 (運営推進会議での決定)	目標および今後の取り組み
2	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	あまりできていない	コロナ禍以来今でも感染対策のため大きな行事なども中止のため近隣の方々との交流は出来ていないが、昔からの顔馴染みや友達と会う機会はもっている。	(事業所) 法人の方針にて、4月より面会やふるさと訪問を再開する。		面会やふるさと訪問を通して、まずはご家族との接点を多く持ち、地域との繋がりを保つ。
4	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	十分にできている	運営推進会議において生活の様子や支援方法、事故報告等を行い、推進委員の方々から頂いた意見をスタッフ間で共有し、サービスの向上に活かしている。	(事業所) 運営推進会議の内容を事業所会議でも共有している。 (委員) 利用者個々の細部まで伝えてもらっているので分かりやすい。		引き続き取り組みを継続する。
5	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	十分にできている	市町村担当者には運営推進会議に出席していただき、当ホームでの取り組みを積極的に伝え様々な意見をいただき、関係性を築いている			引き続き取り組みを継続する。
6	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	十分にできている	法人の身体拘束の研修会にて身体拘束の意味を理解し拘束をしないケアに取り組んでいる。安全対策上どうしても必要な方には本人や家族に了解を得て行っている（センサーマット、窓の鍵など）		A：十分にできている	引き続き取り組みを継続する。

7	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ほぼできている	人権擁護委員会において話し合ったり、研修を行ったり、また「スピーチロックゼロ」の標語を毎月変更するなど職員への啓発をしている。		B：ほぼできている	引き続き取り組みを継続する。
10	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ほぼできている	利用者に対しては日常の会話にて要望等を聞き、家族に対しては面会時や電話にて意見、要望などを聞いている。		B：ほぼできている	左記の取組に加え、毎月のご家族のお知らせに、ご利用者の近況報告を書き添える。
12	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	十分にできている	考課表にて個々の努力や意見を伝える事ができている。各自が向上心を持って働ける職場である		A：十分にできている	引き続き取り組みを継続する。
13	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	十分にできている	法人内での研修会や外部研修の参加の機会をつくり、スキルアップにつなげている。毎年職員については、振り返りをしてもらい課題の抽出とそれに対する助言を行っている。		A：十分にできている	引き続き取り組みを継続する。
20	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	十分にできている	家族や親せき、知人、近隣の方々との関係が続けられるよう、電話をしたり関係作りに努めている。行きつけの美容院に行けるようにも支援している。	(事業所) 面会を嫌がるご利用者がいるが、その他のご利用者は面会に拒否はない。		再開される面会の制限上、親族のみに限られるが、その中での接点づくりを積極的に行っていく。
26	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ほぼできている	利用者・家族の意向を確認し、職員間で話し合った内容を介護計画の反映している。状態変化がある場合の見直しや毎月のモニタリングを行っている	(事業所) 利用者一人ひとりの生活パターンが違うので、それに沿った支援の提供やプランへの反映を行っている。	B：ほぼできている	引き続き取り組みを継続する。

27	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	充分にできている	利用者の日々の様子や病院受診状況、体調不良の状況などを記録システムにて記録し、職員間で情報共有ができています。ケアの変更の必要性があればケアプランの見直しを行っている		A：充分にできている	引き続き取り組みを継続する。
28	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	充分にできている	ニーズに対して現実性、客観性を踏まえ検討を深めている。必要な福祉用具の購入や設備の改修を行っている	(事業所) ご利用者の重度化が進んでいることもあり、とくに個別のリスク管理に注力している面がある。		引き続き取り組みを継続する。
29	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ほとんどできていない	どのような地域資源があるか、活用できるか情報収集に努めながら、コロナ収束時は地域ボランティアを受け入れていきたい	(委員) コロナ前はボランティアを受け入れていたか。 (事業所) コロナ前は様々なボランティアを受け入れていた。社協よりボランティアの情報を収集していきたい。		ボランティアを積極的に受け入れ、ご利用者に楽しみを持っていただく。
32	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ほぼできている	入院時は安心して治療に専念できるように、又早期退院ができるように家族や病院関係者と連絡を取り退院後のスムーズな支援に繋がるよう努めている。		B：ほぼできている	引き続き取り組みを継続する。
33	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ほぼできている	看取り指針や意思確認書を用い、終末期や急変時の対応について確認している。状態低下時には併設の特養担当者とも情報共有を行っている。		B：ほぼできている	引き続き取り組みを継続する。

35	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	充分にできている	毎月、防災避難訓練を行い、年に1回は消防署、警察署、地域の住民と連携を取り避難訓練を行い、協力体制を整えている。	(事業所) 毎月15日の避難訓練と年1回の夜間想定避難訓練を実施している。	A：充分にできている	引き続き取り組みを継続する。
36	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	充分にできている	個々の特性を理解し、受容し、尊厳を守り入居者一人一人に合わせた対応を行っている。トイレや入浴時はプライバシー保護出来ている。		A：充分にできている	左記取組の継続。とくに排泄面についてはデリケートな事柄なので、共同生活内での配慮を徹底していく。
40	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	充分にできている	入居者の好みを聞いたりしながら季節の食材を使ってのメニューを考えている。利用者のできる範囲で、片付け等に積極的に参加してもらっている。		A：充分にできている	引き続き取り組みを継続する。
42	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	充分にできている	1人ひとりにあった口腔ケア用品を使用し、口腔内の観察や仕上げ磨きを行っている。義歯は定期的に洗浄剤を使用し、口腔ケア用品は毎日消毒している。		A：充分にできている	引き続き取り組みを継続する。
43	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	充分にできている	支援の必要な方にはご本人の訴えに直ぐに対応し、またさり気ない声かけにてトイレ誘導を行っている。リハビリパンツから布パンツに変更したり、出来る限り自立した排泄にむけた声かけや誘導を行っている。		A：充分にできている	引き続き取り組みを継続する。
47	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	充分にできている	職員は入居者の服薬の内容を理解し、症状の変化に応じて治療や服薬調整に繋げている。		A：充分にできている	引き続き取り組みを継続する。

48	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	十分にできている	一人一人の好きな事、得意な事を把握し、それぞれに合った家事支援や生活リハビリ、レクレーションを行い楽しみを持っていただいている。	(事業所) 仕事や役割への提案には積極的なご利用者が多い。		引き続き取り組みを継続する。
49	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	あまりできていない	ここ数年は感染症対策の為殆ど外出は出来ていない。家族との買い物など外出は積極的に支援する方向ではあるが、コロナが第5類に移行してからは機会があれば行っていきたい、しかし気候の良い日は外気浴や日光浴を行っている。	(事業所) 左記に加え、春と秋のドライブを行っている。 (委員) 外出に関しては、どの程度のご利用者が希望しているか。 (事業所) 1/3程度の方は希望している。		再開されるふるさと訪問や買い物などを通して、メリハリのある生活を提供していく。
52	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	十分にできている	共有空間は利用者や面会に来られた方が不快な思いをしないように、音量や障害物に配慮している。季節感を感じられるような物品や花木の配置を行い心地よく過ごせるように努めている。	(事業所) 昨夏は暑すぎて、花が枯れてしまったので、野菜を植えて季節感を感じてもらいたい。		引き続き取り組みを継続する。